



豊後高田

香々地の長命草飲料に

食物繊維やビタミン豊富

【豊後高田】豊後高田市香々地地区で生産されている薬草「ボタンボウフウ(長命草)」を素材にした飲料商品「長命草のチカラ」が完成した。ボタンボウフウは食物繊維やビタミンなどを多く含むセリ科の多年草で、県産力ボスを加えて酸味のある爽やかな味にした。関係者は「長命草の魅力を多くの人に知ってもらい、市の特産物に育てたい」と意気込んでいる。

香々地地区のボタンボウフウは2009年に栽培を開始した。「香々地長命草」と名付け、青汁パウダーやふりかけなどとして販売。23年の作付面積は3・5畝(乾燥葉の生産量約2ト)で、25年までに4・5畝(同4ト)に拡大

することを目指している。飲料商品は香々地マシファーム(刈幸秀会長)とジェイエフエスおおいた(大塚修司社長)などが連携して開発。商品に含まれるポリフェノールの一種「クロロゲン酸」は食後の血糖値上昇を抑える働

きがあると考え、機能性表示食品の届け出をしている。1日に市役所で報告会があり、刈幸会長と大塚社長が「栄養素を多く含む香々地長命草の魅力を全国に発信したい」とあいさつし、商品の特長などを説明。試飲した佐々木敏夫市長は「長命草の効果は全国的に注目を集めている。これからも商品開発を進めてほしい」と述べた。

長命草のチカラは190円で200円(税込み)。県内のスーパーなどで販売している。(小田原大周)



関係者「魅力を全国に発信」



長命草の説明をする香々地マシファームの刈幸秀会長

〔問①〕飲料商品「長命草のチカラ」の素材は何ですか？

薬草「ボタンボウフウ」

〔問②〕豊後高田市香々地地区ののでは何年に栽培を開始しましたか？何と名前を付けて販売していますか？

2009年、香々地長命草

〔問③〕あなたなら、こういった食品にしますか？考えて話し合おう。

自由記述、グループ討議